

平成 30 年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(地域型) 選定結果 岩手県を中心とした北東北インバウンド交流拡大モデル事業

- 日本への外国人観光客は増加の一途をたどっていますが、東北地方はこの流れに十分に乗り切れておらず、観光復興は道半ばとなっております。
- 国内の他地域同様、人口減少・少子高齢化が進展する中、復興のさらに先を見据え、外国人の交流人口拡大に取り組むことは重要であると考えます。
- 岩手復興局は、本事業を通じて、岩手県を中心とした北東北の外国人の交流人口拡大を図る取組を支援します。
- 具体的には、地域の関係者とも引き続き連携し、外国人の交流人口拡大に係る課題の解決にも資する、旅行商品や学生交流、企業向け研修プログラムなど、国内外の外国人が岩手県を中心とした北東北に訪れるプログラムの造成・販売等に取り組み、官民共同で新たなビジネスモデルの立ち上げを目指します。

今回、平成 30 年 5 月 18 日から平成 30 年 6 月 11 日までの期間で、本事業に係る提案の公募を行いました。

応募提案について、企画審査委員会において厳正な審査を行った結果、以下の提案を選定いたしましたので、お知らせいたします。

岩手県を中心とした北東北インバウンド交流拡大モデル事業

事業者：株式会社 JTB 盛岡支店

概要：三陸鉄道による久慈～盛間の一貫経営開始のほか、大型外港クルーズ船の寄港や三陸防災復興プロジェクト 2019、ラグビーワールドカップ 2019™釜石開催など、平成 31 年が岩手県にとって「ビッグイヤー」となることなどを踏まえ、

○空港、港湾、道路の新たな交通ネットワークを基盤とした外国人の交流人口の拡大

○地域課題の解決に向け、幅広い担い手が互いの取組に関する情報を共有し、連携・協働することができる体制の構築

○外国人目線を取り入れた魅力的な旅行商品の造成と情報発信

○持続的な交流人口拡大・収益増を実現するビジネスモデルの確立を目指す。

問合せ先：

復興庁岩手復興局 観光・調整班 小林
電話番号 019-654-6609